



人は何のために「働く」のだろう

総合の時間に「働く」ということについて考えました。中学1年生のみなさんにとっては、働くなんてまだ先のこともかもしれません。しかし「働く」意義を考えることは、将来どんな仕事がしたいのかといったことではなく、今の自分自身の生き方を見つめなおす良いきっかけになることでしょう。

ダイヤモンドランキングをして気づいたことや思ったこと

「お金をかせぐ」ことが一番大事にしている班が多く、次に「役に立つ」ことを大事にしている班が多かった。どれも正しい答えだと思うし、どれが一番でもいいと思います。でも、自分の中で、絶対「これだけは一番」というものがあればいいのかなと思います。〔生徒感想〕

お金をかせぐ

人の役に立つ

特技を生かす

安定収入

こはまいつろう「かぞくかんが」にち
小浜逸郎『家族を考える30日』より

仮に、(そんなことはありえないが)すべての人が一生働かずに暮らせるような社会状態が永久的に実現されたとする。そのときすべての人が働くことをやめちゃうだろうか。私にはどうもそう思えない。マジョリティの人々は、やっぱり何らかの働く道すじや意味を見つけて働き続けるのではないかと思う。

人が働くことをやめないのは、たぶん働くことが、人がこの世界を自分になじませ、自分をこの世界になじませる一番てっとりばやい手立てだからである。

日々の起居のなかに働くリズムが呼吸のように入り込むことによって、私たちは世界や他者と全面的にはないにしても、融和し、その手触りを知り、そしてそれによって自分の生というものに節目のあるイメージを与えることができるのである。

『生きている』実感や喜びは、社会や他者とのつながり、
関りがあればこそ、わいてくるものなのかもしれない。

さて、みなさんはどんな生き方をしていきたいですか?がんばろう44期生!